


花作りの今年1年間の計画をたてましょう

2005年1月	睦月(むつき)・正月(しょうがつ)・初陽(しよよう)・年初月(ねんしよげつ)・太郎月(たろうづき)・祝月(いわいづき)	●花作りの今年1年間の計画をたてましょう
●今年ぜひ育ててみたい新しい植物はありませんか？ 参考書やカタログなどで知識や情報を仕込み、あれこれ考えをめぐらすのは楽しいものです。暖かくなると忙しくなるので、寒いうちに理想の庭に仕上げるために、じっくりと考えたいものです。		
庭木の作業	休眠の時期なので植え替えは不適當。枯れ枝や病気の枝を切り、害虫の卵やサナギなどを見つけたらとります。	
草花の作業	根が十分に張っていない苗などは、霜によって持ち上げられ、乾燥して枯れる心配があるので、株の周りを踏みつけ、必要ならば霜よけや防寒を十分にして守ります。	

今月の誕生花	オンシジウム・ツバキ・エリカ	
今月の花	フクジュソウ	
	花言葉/幸せを招く お正月に花を楽しんだ後は、庭に植えておくと2～3年後には花が咲き、くり返し楽しむことができます。	
	<p>原産地は東部シベリア、中国、朝鮮、日本です。別名で 側金盞花、元旦草、元日草ともいう。英名はアムール・アドニス(Amur adnis)。高さは15～25cm。</p> <p>昔から日本では「おめでたい花」とされ、正月の祝い花として、お飾り用になくはない花ですが、これは促成栽培された「福寿海」という品種です。本来、フクジュソウは、1～3月頃に咲く早春の花です。自然のままの姿がいいという方は、花の咲いていないものを買って、世話をしながら、旧正月ごろに咲くのを待つのも、また楽しいものです。</p>	

1年間の計画

1月から順に表を作って、花木・宿根草・1年草にわけて、取り入れたい品種を書き出し、組み合わせを考えます。また、苗や花の会社のカタログにゆっくりと目を通して、新品種を取り入れるというものいいかもしれません。

●比較的育てやすい主な草花

早春	クロッカス・スイセン・スノードロップ・ヒヤシ
春	パンジー・チューリップ・ムスカリ・ドイツズラン・ラッパスイセン・アヤメ・クレチマス・スイートピー
初夏	キンギョソウ・オダマキ・アステルベ・シヤスターデージー・ハナショウブ・ハナアザミ
夏	サルビア・アサガオ・ニチニチソウ・ヒヤクニチソウ・カンナ・マツバボタン
秋	キク・トレニア・マリーゴールド・コスモス
冬	ハボタン



花壇のデザイン

花色や、花形の違いを生かしながら、デザインしていきましょう。植栽選びで大切なのは、丈夫に育ち、花つきがよいこと、開花期が長いこと、花色が豊富なことなどです。デザインは、複雑にすると、植栽できる植物も限られてくるし、日頃の管理にも手間がかかるので、シンプルにしましょう。株数は、1m²あたりに何株植栽可能かを数え、成長時の株の大きさまで考慮しながら、デザインしましょう。方眼紙にデザインを描くと、より具体的になります。



宿根草の植えつけ



日当たりのよい場所に苗を定植

あたたかい土地の日当たりのよい場所や南向きの場所なら、イベリス、プリムラなどの植え付けが可能です。ただし、寒い日や夜間などは、苗が枯れないようにビニールなどで防寒する必要があります。

また、ジャノヒゲ、トクサなどの常緑性のものや、ツワブキ、テイカカズラなどの小苗の植え付けは、下旬頃から行えます。寒さにはあまり強くないので、日中の気温で判断をして、植物にはダメージを与えないようにしましょう。

用土の掘り返し

風がなく穏やかな晴れた日には、花壇や庭土を深く掘り返し、冷気と日光にさらして庭土を若返らせます。この作業は、土中の殺虫や殺菌をするだけでなく、霜や凍結していた土をほぐすことで、排水性、通気性をよくする効果もあります。掘り返したときに、土中から雑草の根や石ころ、害虫がでてきたら取り除いておくこと。この作業を晴れた日に何回か繰り返すことによって、植物が生長しやすい土に生まれ変わります。



病気・害虫の防除

病気と害虫は、植物にとって大敵です。必ず発生することを予測して、対策を準備することが必要です。

● 予防が第一

冬の間は、病気・害虫も休眠中なので、この間に発生源となるものを すっかり処分しておきましょう。

● 枯枝を切り取る

病気にかかった枝は、健全な部分を残して切り取り、焼き捨てます。サクラなどの切り口から枯れ込みやすい枝は、切り口に樹脂(市販の専用のも)を塗っておきます。

● さなぎや卵を取る

枝や木の股、樹皮の間についているサナギや卵などを取り、処分します。カキのイラガやミノムシなどは、枝ごと切り取ります。

木の根元近くの樹皮の間には、サナギや卵がひそんでいるものですから、タワシや竹べらを使って削り落としましょう。

● 枯木の片付け

枯れた木を残しておく、シロアリの巣となったり、地中では、白絹病の病巣となったりします。地中に残った根もできる限り、掘りだしてしまします。

フクジュソウの咲かせ方

お正月のうちに咲かせようと あせるのは禁物。

お正月用の鉢植えのフクジュソウは、つぼみの先が黄色くなって今にも咲きだしそうに見えますが、なかなか咲いてくれません。そのうちに黒くなって、ついに咲かないまま枯れてしまった経験はありませんか？

●咲かない理由

庭植えでは、2月初めには咲き出しますが、それより早く咲かすには、1度寒さに当てた株を 温室などに入れて暖め、開花の準備を進めます。ところが、根が十分に張っていないと うまくいかないことがあり、鉢植えにするため 早めに掘り上げて株が弱っていたり、ときには根が切られていたりしていると、咲きたくても力なく終わるというわけです。

また、フクジュソウは、日が当たらないと咲き出さないものですから、部屋の中においたままでは咲きません。

さらに、部屋の中は 空気が乾燥しているので、つぼみが干からびやすく、咲けないことが多いのです。

●花を咲かせるには

早く咲かせようとして、温度調節してみても そんなに早くは咲きません。

無理に暖めたものは むしろ敬遠して、よく充実した株を ごく普通に植えた鉢を求め、軒下などの陽だまりに置いて、夜だけダンボール箱などをかけて防寒してやると、自然のものよりは やや早めに咲き出します。

